

- ◎ 優しいまちづくりを目指し、中学生と民生・児童委員がコラボして地域福祉を進めます。
- ◎ 福祉行政の出前講座を利用して、思いやりと周りの人への気づかいを学びます。
- ◎ 光井中学校から笑顔あふれるまちづくりを発信します。

## 認知症高齢者を地域で守ろう！

9月29日(金) 光井中学校体育館

対象：光井中1年生

講師：山本 芽依(光市福祉保健部高齢者支援課)

- 内容：「見守りシールをつけて困っている人がいたら」
- ◎ 前回の復讐(認知症とは・認知症の人への声のかけ方)
  - ◎ 認知症高齢者を見かけたときの対応
  - ◎ 見守りシールを確認する ◎ 声かけをする
  - ◎ 見守りシールを読み取らせてもらう
  - ◎ 通行人に助けを求める ◎ 話をしながら連絡を待つ



### 他者の立場で「生き方」を考えるための好機

「福祉」をテーマとして、民生児童委員のみなさまに複数回ご指導いただいていることで、生徒には次のような変化があります。

◆民生児童委員のみなさまのお顔や名前を覚え、生き生きとした交流ができるようになった。◆段階を追って「自分や家族が年をとったらどんな気持ちで生活するのか」と想像する経験をし、他者の立場で物事を深くとらえる生徒が増えた。◆フードバンクに関する学習や、祭の後のゴミ拾いなどを経験させていただき、SDG'sに関わる幅広い社会課題を自分事として捉える生徒が増えた。

生徒にとって、他者の立場で「生き方」を考えるための好機となりました。お忙しい中、光井中学校の生徒のために時間を作ってくださった民生児童委員の皆様には感謝しかありません。  
光井中学校 小林久美子

### 生徒からの感想(アンケート調査)

- ◎ 5月の時よりスムーズに話すことが出来たのは見守りネットのおかげだと思います。見守りネットが普及したらもっと良い町になると思います。
- ◎ 認知症の人は話せば楽しいなと思いました。QRコードを読み取れば認知症の人でも話しやすいということがわかりました。
- ◎ 認知症の方と話し続けるのが難しかった。とにかく驚かせないように気を付けた。今回は練習だから出来たけど本番では沢山話せるようにしたいです。
- ◎ 話すのは出来たけどもう少し詳しい話を聴けば通行人の人にも伝えやすかったかなと思います。意識したのは話を続ける事と大きな声で話すことです。認知症の方とも楽しく話せました。

## 「フードバンク・子ども食堂」

日時：10月3日(火) 光井中体育館

講師：木本 秀男 (民生児童委員)

地域におけるボランティア活動を幅広く理解するため、光井地区にあるフードバンクや中島田地区子ども食堂の活動を学びました。持続可能な開発目標である(SDGs)を体験することで、社会の中で何ができるか考える時間となりました。



## 「光井まつり終了後の会場周辺清掃」

日時：10月15日(日) 光井コミュニティセンター周辺

光井まつり終了後、中学生と小林校長先生、民生児童委員総勢25名で会場周辺のゴミ拾いを実施しました。環境美化だけでなく心まで綺麗になりました。



@455benjg

### 「スマイル光井」

LINE公式アカウント始めました。  
光井地区に関する情報やご意見をお寄せください。  
自治会名とお名前をご記入ください。



@SMAILEMITSUI

### 「SMAILEMITSUI」

Instagram始めました。光井コミュニティ協議会の行事や周辺の情報を掲載しています。地域福祉や中学生と民生児童委員の活動など掲載していく予定です。フォローをお願いします。